



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2009.12.7 No. 33-28

発行：日本乗員組合連絡会議・ALPA
Japan 幹事会

〒144-0043
東京都大田区羽田5-11-4
フェニックスビル
TEL.03-5705-2770
FAX.03-5705-3274
E-mail:office30@alpajapan.org

<IFALPA AGE Committee in LAS VEGAS 出席報告>

2009年11月5日～7日、Las Vegasにおいて世界各国40名程のPilotが参加し行われました。例年同様BoeingやEMAS（下記参照）、LEDの技術者も参加し、最新の飛行場環境について議論を深めると同時に様々な意見交換を行いました。また、8,9日に行われたLRST(Local Runway Safety Team)とI-ALR(Intermediate ALR)セミナーに3名のAGE/ADO委員が参加し、国内活動に活かせる知識を充足してスキルアップを図りました。（ALRとは空港視察に必要なIFALPAの資格）

EMASをご存知ですか！？

特に米州を飛ぶ方！！

EMASとは**Engineered Materials Arresting Systems**の略で、滑走路末端の先に設置され、オーバーランの際に航空機を包み込み、機体損傷と乗員乗客の負傷を最小限に留めるシステムです。EMASについてはFAA/AIMなどには記載がありますが、身近なものでは**Jeppesen**などにしか記載されていません。過去にJFK(ニューヨーク)空港04Rで、B747貨物機がオーバーランした際、EMASが設置されている事を知らずに滑走路延長上にある窪地を避けようとステアリングを切ったものの、Gearの一部がEMASに拘束され無事に停止し、機材損傷/負傷者無しという事例もあります。米州では既にJFKやBostonなど47ヶ所に設置され、アジアでは中国も導入しており、台湾も導入予定です。国内空港によく見られる、滑走路両端が切り立った地形や海上といった立地環境にも大変有効なシステムかもしれません。



Committeeでは他にも

- ・FAAではCAT Iの地上施設であっても機上にCAT II 装備、又はHUDが装備されていれば実際の運航ではCAT II Minimumで運用されている事
 - ・より発熱効果が高いLED灯火がアンカレッジ空港で運用されている事
- など、大変興味深い内容が報告されました。AGE 委員会は今後も積極的に国際活動に参加し、様々な情報を発信していきます！

以上